

第45回定時総会および臨時理事会を開催

平成25年5月31日、一般社団法人電池工業会第45回定時総会を機械振興会館にて開催した。定款に基づき本間充会長が議長となり、第1号議題から第3号議題までが審議され、提出された議題はすべて可決承認された。また、報告事項についても確認された。

定時総会終了後に行われた臨時理事会では、第1号議題から第3号議題が審議され、会長・副会長・専務理事の選出が行われた。



1. 第45回定時総会

(1) 第1号議題（報告事項）平成24年度事業報告の件

議長の指示に従い、中谷専務理事より、平成24年度事業報告の説明がなされた。議長が、議場に諮ったところ、第1号議題は確認された。

(2) 第2号議題（第1号議案）平成24年度決算承認の件

議長の指示により、中谷専務理事より平成24年度

決算報告がなされた。紙野監事より、監査の結果、経理上および運営上特段問題がなかった旨報告された。議長が、第2号議題（第1号議案）について議場に諮ったところ異議なく、原案通り承認可決された。

(3) 第3号議題（第2号議案）役員改選の件

本総会をもって、理事、幹事の全員が任期満了となるので、議長の指示により、中谷専務理事から第116回理事会で議決された次期役員候補者案が提案された。

一般社団法人電池工業会 役員(案)
(任期:平成25年5月31日総会終了後～平成27年5月開催の定時総会まで)

役職	氏名	所属・役職	備考
理事	佐藤 護	NECエナジーデバイス株式会社 代表取締役社長	重任
理事	和田 敏雅	FDK株式会社 代表取締役副社長	重任
理事	依田 誠	株式会社GSユアサ 代表取締役社長	重任
理事	小西 真	新神戸電機株式会社 代表取締役社長	新任
理事	種茂 慎一	ソニー株式会社 ソニーエナジー・デバイス株式会社 代表取締役社長	重任
理事	伊藤 好生	パナソニック株式会社 常務役員 オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社 上席副社長	新任
理事	千歳 喜弘	日立マクセル株式会社 取締役社長	新任
理事	淡路谷隆久	元三洋電機株式会社 一般社団法人電池工業会 (予定)	新任
監事	河津 象司	株式会社東芝 社会インフラシステム社 理事	重任
監事	紙野 愛健	青山アクセス税理士法人 代表社員	重任

議長が第3号議題（第2号議案）について、次期役員についての理事会提案を議場に諮ったところ、異議なく上記の全員を承認可決した。

上記をもって全議事はすべて終了し、議長が第45回定時総会を終了する旨宣言し、閉会となった。

2. 臨時理事会

第45回定時総会終了後、その場にて臨時理事会を

開催することが、新たに選任された理事及び監事の全員から承諾されたため、臨時理事会を開催することとし、出席理事の中から淡路谷理事が議長として選出された。

(1) 第1号議案 役員互選の件

議長より、会長、副会長および専務理事の選定(案)が説明された。

役職	氏名	所属・役職
会長 (代表理事)	依田 誠	株式会社GSユアサ 代表取締役社長
副会長 (代表理事)	和田 敏雅	FDK株式会社 代表取締役副社長
副会長 (代表理事)	種茂 慎一	ソニー株式会社 ソニーエナジー・デバイス株式会社 代表取締役社長
専務理事	淡路谷隆久	元三洋電機株式会社 一般社団法人電池工業会 (予定)

議長が第1号議案について議場に諮ったところ、異議なく上記の全員を承認可決した。

上記を持って全議事はすべて終了し、議長が本日の理事会を終了する旨宣言し、閉会となった。

渡辺勝秀氏は、1887年（明治20年）11月16日、東京府本郷区で生まれました。両親は共に教員でしたが、複雑な家庭の事情により、祖父のもとで育てられました。

明治31年11歳の時、これより先に台湾に渡った父を慕って、単身で台湾に向かいましたが、継母との折り合いが悪くしばらくして再び父のもとを去らなければならなくなりました。

台湾は誰1人知る人もない土地であったため、少年の身で早くも自活の道を歩まねばなりません。ある時は土方の手伝いなどの荒仕事もやり、苦しい日々が続きました。16歳で台湾郵便局の集配人となったのち、台湾製糖に転じました。この間、通信教育により中等学校の課程を修め、続いて明治大学法律科の課程を終えました。

台湾製糖で働くうち、さきに内地に引き上げた東京の父から婦人雑誌を始めたので手伝いに東京に帰れという連絡がありました。父は、ずっと身持ちが悪くそれまでも散々の苦難をなめさせられていましたが、やはり経ちがたい肉親の情にひかされ、先輩や僚友に惜しまれながらも台湾製糖を去ったのでした。

ところが、東京に帰ってみると父親の生活は、手紙の内容とは全く違ったでたらめなものでした。氏の失望は大きなものでしたが、ここで意を決して長野県の信濃毎日新聞社の記者となりました。この時、氏は27、8歳でした。新聞社での担当は専ら県庁、鉄道、郵便局等の官庁廻りでした。

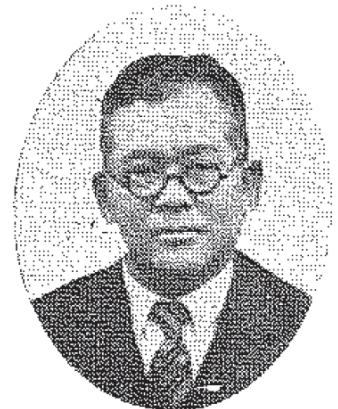
大正6年になり、元信濃毎日の主筆だった永松氏より自分の経営する会社に来て働いて欲しいという要求があり、氏はこれを受諾して東京に出てきました。その会社は、東京東目黒にあった電器製造株式会社といって専ら特許注水式乾電池の研究をやっていました。これが乾電池

を終生の事業とする契機となったのです。

ところが、この電器製造会社は従業員を数十名擁しながら、試作のみで商品としての販売はほとんど進みませんでした。株主の中には、三井・三菱等の大きな企業もあったようですが、試作会社では、長続きするはずもなく、創立から3年で解散となってしまいました。氏は、会社の建物設備等を引き継ぎ、個人経営として始めましたが会社の経営は苦しかったようです。しばらくして、大正12年（1922年）9月1日の関東大震災が起こり、乾電池の需要が急増し、経営は好調に転じることができました。

翌大正13年に品川区西品川に工場を建設し、東華乾電池製造所として新しく出発しました。翌14年にはラジオ放送も始まり、事業は更に好調に進みました。その後、業者間の競争が激しくなり、一時の好況から低落の方向がみられるようになった中で、同業者の協力による業界の発展策が考えられるようになり、同業者組合の設立運動が起きました。

氏は、東京乾電池工業組合の設立後間もなく専務理事に就任、引き続き東日本乾電池工業組合の専務となり、昭和18年工業会の解散まで長年にわたり業界のために力を尽くされました。この間企業整備にあたり、中小企業の代表として生活権の確保に奮闘しましたが、遂に他の多くの仲間たちとともに戦争に巻き込まれることとなりました。終戦後に再起を期しましたが、その時を見ず昭和21年2月1日に60歳で死去されました。



渡辺 勝秀氏

平成25年 5月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議 他	14日(火)	国際環境規制総合委員会	地域別動向、国際会議発表資料の審議。
	15日(水)	第116回理事会	平成24年度事業報告、決算承認、他。
	17日(金)	広報総合委員会	九州でんちフェスタ及び関西でんちフェスタの内容検討、他。
	22日(水)	T34回JEA蓄電池設備認定委員会	蓄電池設備の型式認定案件15件の審議・承認、他。
	31日(金)	第45回定時総会	平成24年度事業報告、決算承認、新役員陣承認。
	31日(金)	臨時理事会	役員互選、他。
二次電池部会	8日(水)	自動車用電池リサイクル委員会	H25年度検討テーマの抽出。
	9日(木)	S0101WG	SBA S0101改正協議。
	10日(金)	自動車鉛分科会	EN規格新規設定審議、他。
	16日(木)	産業用電池技術サービス分科会	SBA G 0606改正審議、他。
	20日(月)	産業用電池リサイクル委員会	産業用電池リサイクルスキームの検討。
	20日(月)	用語分科会	二次電池用語、IEC硫酸、水規格審議。
	22日(水)	PL委員会	安全表示ガイドライン審議。
	23日(水)	資材委員会	使用済みバッテリー調査まとめ検討、他。
	24日(金)	充電器分科会	SBA G 0901、SBA G 0902改正審議、他。
	24日(金)	自動車技術サービス分科会	TS-004審議、他。
	27日(月)	自動車鉛分科会	S0101審議、EN規格審議。
	29日(水)	自動車用電池リサイクル委員会	リサイクラーの要望検討、他。
	29日(水)	技術委員会	IEC TC21関連審議、G0902改正審議。
	二次電池第2部会	8日(水)	ニカド・ニッケル水素分科会
9日(木)		リチウム二次分科会	IEC/ANSI改訂対応審議。
10日(金)		リチウム二次分科会	JIS C 8712改訂審議。
16日(木)		国際電池輸送委員会	ICAO WG/13の結果対応。
23日(木)		業務委員会	出荷投票実績確認。
24日(金)		ニカド・ニッケル水素分科会	IEC/JIS改訂対応審議。
27日(月)		国際電池規格委員会	IEC/ANSI/UL/中国規格対応審議。
28日(火)		技術委員会	ニカド・ニッケル水素・リチウムイオン二次電池の技術対応審議。
29日(水)		リチウム二次分科会	JIS C 8712改訂審議。
31日(金)		工場環境委員会	省エネ状況、ISO14001更新審査等の情報交換。
池一次電 部会電	16日(木)	ボタン電池回収推進委員会	H24年度の事業結果、H25年度のトピックス報告、他。

GSユアサ史上 もっとも長寿命なカーバッテリー 「ECO.R LONG LIFE」(エコ.アール ロングライフ) シリーズを新発売

株式会社 GSユアサ

株式会社 ジーエス・ユアサ バッテリー(社長:坂本 文明、本社:東京都港区)は、先進のテクノロジーを搭載した自家用乗用車用高性能バッテリー「ECO.R LONG LIFE」(エコ.アール ロングライフ 以下、EL)シリーズを7月より新発売いたします。

ELシリーズは極板の高性能化による長寿命設計と充電能力の一層の向上により、当社標準品比200~300%という圧倒的な長寿命を実現するとともに、国内で初めて通常車とアイドリングストップ車(以下、IS車)のどちらにも搭載が可能となりました。(シリーズ内、一部製品を除く)

ジーエス・ユアサ バッテリーは、2000年4月、国内メーカーで初めて電槽に再生樹脂を採用した環境配慮型バッテリー「ECO.R」(エコ.アール)シリーズを発売し、いち早く循環型社会形成に寄与すべく市場への浸透を図ってまいりました。2009年には、ECO.Rシリーズにおける上位モデルとして、CO₂排出量削減効果に加えて長寿命設計で製品ライフサイクルを長くした「ECO.R LS」(エコ.アール エルエス)シリーズを発売、2011年のマイナーチェンジを経て、自社の補修用バッテリーの中核を担う商品シリーズとして展開を図ってまいりました。

一方、近年車両における低燃費化技術が急速にすす



ECO.R LONG LIFE (写真はEL-90D23L/Q-85)

み、ハイブリッド車やIS車など次世代のエコカーが次々と市場へ投入されております。なかでもIS車は軽自動車を中心に急速に普及が拡大しており、バッテリーにおいても新たなニーズが生まれつつあります。

このような状況下、当社は従来の「ECO.R LS」と比較し、さらに長寿命設計で次世代エコカーにも対応できる新モデルとしてELシリーズを新発売することといたしました。

当社はELシリーズの販売を通じて、みなさまへより豊かなカーライフをご提供し、地球環境に貢献できるよう努めてまいります。

【ECO.R LONG LIFEの特長】

- バッテリーの心臓部である極板にウルトラロングライフ構造(以下、ULL構造)^{※1}を採用
 厳しい使用環境下での活物質の劣化・脱落を防止することで耐久性を向上し、標準品比較200~300%の長寿命化を実現。^{※2}
- カーボン量の最適化と電解液へのリチウム配合により、充電受入性と回生受入性が大きく向上
 ULL構造との相乗効果により、アイドリングストップ車への搭載も可能に。^{※3}
- 電槽や蓋に使用済バッテリーから回収した樹脂を再資源化し使用。
- 充電状態がひとめでわかる「インジケーター」や外部からの引火を防ぐ「防爆液栓」などの安心、安全アクセサリーを採用。

※1 高耐久性グリッドとハードペースト(高密度活物質)を採用した極板の総称(当社呼称)

※2 当社標準品(カルシウムタイプ)との比較において・当社独自試験条件による
 B19、B24、D23、D26サイズ……………200%
 B20サイズ……………300%(B19サイズとの比較)

※3 B19サイズを除く

【製品補償】

搭載車両により条件が異なる

- 通常車……………36ヶ月または累計走行距離 10万km
- アイドリングストップ車……………18ヶ月または累計走行距離 3万Km
 (いずれもご購入後どちらか早く到達するまで)

スマートフォンを2台同時に急速充電*1 USBケーブル収納式で持ち運びに便利 マクセル製の大容量10000mAhリチウムイオン電池を搭載した モバイル充電バッテリー「MPC-C10000」を新発売

日立マクセル株式会社



MPC-C10000BK

MPC-C10000WH

モバイル充電バッテリー「MPC-C10000」シリーズ

日立マクセル株式会社(取締役社長:千歳 喜弘、以下マクセル)は、マクセル製の大容量10000mAhのリチウムイオン電池を搭載したモバイル充電バッテリー「MPC-C10000」を6月10日より発売します。

- ◎大容量10000mAhのマクセル製リチウムイオン電池を搭載!
- ◎入出力電流は最大2A*2に対応し、スマートフォン2台を同時に急速充電*1できる!
- ◎本体にUSBケーブルが収納できるので持ち運びに便利!
- ◎充電用USB変換ACアダプタつきで、約500回*3くり返し充電できる!
- ◎バッテリー残量を分かりやすく4段階でLED表示!

スマートフォンやタブレット端末などのモバイル機器の高機能化や高速移動通信システムの登場により、携帯型の補助電源の必要性が高まっています。

モバイル充電バッテリー「MPC-C10000」シリーズは、マクセル製の大容量10000mAhリチウムイオン電池を内蔵しており、スマートフォン1台を4回急速充電*1できます。また、出力電流が最大2A*2に対応しているため2口の出力端子でスマートフォン2台を同時に急速充電*1できるほか、約500回*3のくり返し充電が可能です。

また、充電用のUSBケーブルとUSB変換ACアダプタを付属しています。充電用USBケーブルは、本体に収納してコンパクトに持ち運ぶことができます。さらに、本製品のバッテリー残量(充電状態)は4段階のLEDで分かりやすく表示します。

マクセルは今後もスマートフォンをはじめとするモバイル機器用充電器のラインアップを市場のニーズに応じて拡充していきます。

*1 容量1500mAh相当、電源OFF状態のモバイル機器を充電する場合の目安です。2013年5月現在、当社調べ。また、急速充電には、それぞれの機器に付属のケーブルが必要です。
*2 出力電流最大2Aは出力端子2口同時使用時の合計です。
*3 当社試験結果に基づく目安です。
※ 「mobile VOLTAGE」は、日立マクセル株式会社の登録商標です。

【製品情報】

品 種	型 番	カラー	発売日	価 格
モバイル充電バッテリー	MPC-C10000BK	ブラック	6月10日	オープンプライス
	MPC-C10000WH	ホワイト		

【主な仕様】

型 番	MPC-C10000BK	MPC-C10000WH
バッテリータイプ	角形リチウムイオン電池	
入 力	DC5V/最大2A	
出 力	DC5V/最大2A*2	
本体質量	約290g(充電用USBケーブル含む)	
外形寸法	幅69×高さ115×厚み31.5mm	
付属品	充電用USBケーブル(USB-microUSB約20cm)、USB変換ACアダプタ	

*2 出力電流最大2Aは出力端子2口同時使用時の合計です。

※ iPhone/iPadは、米国および日本で登録されているApple Inc.の商標または登録商標です。

※ 「mobile VOLTAGE」は、日立マクセル株式会社の登録商標です。

※ 製品仕様および外観は、予告なく変更する場合があります。

3月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2013年3月）

単位：数量—千個、金額—百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	361,263	64,213	85%	83%	956,279	176,588	86%	84%
一次電池計	230,609	7,444	83%	83%	609,860	19,762	84%	84%
酸化銀電池	70,727	1,262	80%	77%	194,398	3,344	81%	75%
アルカリ乾電池計	84,490	3,211	78%	73%	217,896	8,665	81%	79%
単 三	47,599	1,561	76%	73%	122,199	4,244	80%	81%
単 四	24,604	847	84%	81%	61,506	2,138	84%	82%
その他	12,287	803	74%	67%	34,191	2,283	78%	74%
リチウム電池	75,392	2,971	94%	101%	197,566	7,753	92%	95%
二次電池計	130,654	56,769	88%	83%	346,419	156,826	88%	84%
鉛電池計	2,802	15,225	96%	98%	8,241	42,466	95%	94%
自動車用	2,041	8,029	94%	97%	6,036	23,720	93%	92%
その他の鉛蓄電池	761	7,196	100%	99%	2,205	18,746	100%	98%
アルカリ蓄電池計	56,814	18,290	100%	88%	148,839	51,001	95%	86%
ニッケル水素	41,435	16,127	98%	85%	109,287	45,547	95%	85%
その他のアルカリ蓄電池	15,379	2,163	105%	127%	39,552	5,454	94%	102%
リチウムイオン蓄電池計	71,038	23,254	80%	73%	189,339	63,359	84%	76%
車載用	10,215	8,489	267%	57%	31,522	26,313	382%	70%
その他	60,823	14,765	71%	88%	157,817	37,046	73%	81%

3月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2013年3a月）

単位：数量－千個、金額－百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	184,273	32,398	94%	103%	479,371	86,528	92%	109%
一次電池計	89,162	2,153	113%	106%	229,690	5,626	103%	102%
マンガン	775	29	127%	214%	1,160	47	109%	170%
アルカリ	3,644	67	94%	118%	10,841	186	97%	98%
酸化銀	45,769	683	129%	123%	123,687	1,758	112%	109%
リチウム	38,784	1,271	101%	101%	93,563	3,346	93%	100%
空気亜鉛	108	1	117%	154%	229	3	129%	166%
その他の一次	82	101	108%	71%	211	286	163%	81%
二次電池計	95,111	30,245	82%	103%	249,681	80,903	85%	110%
鉛蓄電池	216	1,009	161%	148%	495	2,412	127%	100%
ニカド	12,113	972	121%	109%	30,408	2,610	98%	98%
ニッケル鉄	0	0	0%	24%	0	0	0%	19%
ニッケル水素	15,138	6,120	113%	135%	34,460	15,389	100%	132%
リチウムイオン	63,424	16,163	74%	82%	170,673	44,496	81%	94%
その他の二次	4,220	5,980	53%	171%	13,645	15,996	73%	168%
全電池合計（輸 入）	167,462	10,128	150%	113%	376,313	29,283	115%	117%
一次電池計	158,930	1,838	154%	144%	352,426	4,827	116%	138%
マンガン	14,159	144	81%	110%	39,904	398	69%	97%
アルカリ	127,186	1,091	177%	145%	261,842	2,716	127%	128%
酸化銀	1,523	27	264%	200%	2,181	42	182%	143%
リチウム	11,862	453	136%	187%	37,526	1,350	144%	204%
空気亜鉛	4,158	59	98%	115%	10,904	164	86%	103%
その他の一次	41	65	12%	75%	69	157	9%	135%
二次電池計	8,532	8,289	106%	108%	23,887	24,456	99%	113%
鉛蓄電池	662	2,567	100%	101%	2,064	7,655	105%	105%
ニカド	161	210	27%	157%	495	564	17%	113%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	0	70%	134%
ニッケル水素	1,768	433	118%	80%	5,855	1,370	130%	101%
リチウムイオン	4,096	4,148	90%	128%	12,223	12,321	103%	148%
その他の二次	1,845	931	237%	74%	3,249	2,545	111%	62%